

おぢや市議会だより

NO. 109

令和5.7.25

編集発行
小千谷市議会
☎83-3505

OJIYA CITY ASSEMBLY



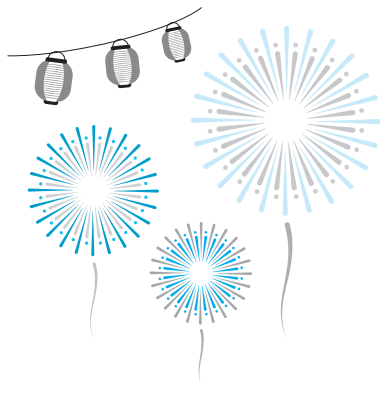
新市議会 始動!

住安 康一
佐藤 瑞穂
森本 恵理子
上村 行雄
平澤 智
阿部 守男
和田 忠篤
内山 博志



- 第1回臨時会議決結果 …… P2
- 議長就任挨拶 …… P2
- 第2回定例会議決結果 …… P2
- 常任委員会報告 …… P3
- 一般質問 …… P4
- 議会日誌 …… P10
- 編集後記 …… P10

—主な掲載内容—



令和5年小千谷市議会 第1回臨時会 議決結果

5月15日に開催し、専決処分の承認、正副議長を選出、各委員会等の新しい構成を決定しました。

専決処分

- 専決処分（小千谷市税条例の一部改正）（全会一致）
- 専決処分（小千谷市都市計画税条例の一部改正）（全会一致）
- 専決処分（小千谷市国民健康保険税条例の一部改正）（全会一致）
- 専決処分（令和5年度小千谷市一般会計補正予算（第1号））（全会一致）

議会構成等の決定

- ▽議長 上村 行雄
- ▽副議長 森本恵理子
- 委員長 久保田陽一
- 副委員長 長谷川有理
- ▽総務文教委員会
 - 平澤 智
 - 内山 博志
 - 廣井 良宣
 - 上村 行雄
 - 久保田陽一
- ▽民生産業委員会
 - 阿部 守男
 - 駒井 和彦
 - 佐藤 勝義
 - 高木 健太
 - 佐藤 隆一
- ▽議会運営委員会
 - 住安 康一
 - 内山 博志
 - 佐藤 勝義
 - 平澤 智
- ▽新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員 阿部 守男

その他

- 小千谷市監査委員（久保田陽一）の同意（全員賛成）

議長就任挨拶

議長 上村 行雄

このたび、5月開催の臨時市議会におきまして議員各位のご推挙により、市議会議長に就任をいたしました。誠に身に余る光栄であり、重大な責務をしっかりと務めてまいり所存であります。

私たちの生活に多大な影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症も2類から5類へと移行し、市民の皆様も日常の生活を徐々に取り戻していくものと思えます。我々市議会としましては、行政とともに、市民の皆様の不安を解消すべく市民に寄り添い、市政の充実と発展、住民福祉の向上に向け、誠心誠意取り組んでまいります。

活力と魅力にあふれ、安全で安心な住みやすいまちづくりを進めていくことが市民の皆様の一致した願いであると認識しており、その負託に応えるべく、皆様とともに頑張つてまいりますので、今後とも議会の活動につきましても、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

第2回定例会 議決結果（6月2日から6月26日まで開催）

議案番号等	議 件 名	議決状況	議決結果
議案第35号	小千谷市税条例の一部を改正する条例の制定	全会一致	原案可決
議案第36号	小千谷市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定	〃	〃
議案第37号	小千谷市子どもの医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定	〃	〃
議案第38号	小千谷市妊産婦医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定	〃	〃
議案第39号	小千谷市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定	〃	〃
予 算	議案第40号 令和5年度小千谷市一般会計補正予算（第2号）	〃	〃

その他	議案第41号	契約の締結（消防庁舎仮眠室棟増築（建築主体）工事）	〃	〃
	議案第42号	財産の取得（情報端末機器（PC））	〃	〃
	議案第43号	財産の取得（凍結防止剤散布車）	〃	〃
	議案第44号	財産の取得（高規格救急自動車）	〃	〃
	議案第45号	財産の無償貸付	〃	〃
	議案第46号	小千谷市固定資産評価審査委員会委員の選任（横山美穂氏）	〃	同意
	議案第47号～第65号	小千谷市農業委員会委員の任命 〔関啓一氏、小泉憲一氏、渡辺正寿氏、横山博行氏、磯部正行氏、安部功氏、篠田千恵子氏、小見山優子氏、風巻和子氏、小池賢司氏、鳥山堅一氏、保科学氏、國松吉範氏、鈴木栄正氏、藤巻政一氏、太刀川優子氏、谷風正樹氏、斎木栄子氏、青柳利一氏〕	〃	〃
	議案第66号	契約の締結（小千谷中学校管理・普通教室棟長寿命化改良（建築主体）工事）	〃	原案可決
議案第67号	契約の締結（変更）（図書館等複合施設新築（建築主体）工事）	〃	〃	
議案第68号	契約の締結（変更）（図書館等複合施設新築（衛生設備）工事）	〃	〃	
発議	発議案第3号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書	〃	〃
請願	請願第1号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願	みなし	採択
	請願第2号	「消費税インボイス制度の実施中止を求める」意見書を国に提出することを求める請願	賛成少数	不採択

議員賛否の状況（採決において賛否が分かれたもの）

議案番号等	議決結果	賛成	反対	廣井良宣	佐藤勝義	和田忠篤	佐藤瑞穂	高木健太	平澤智	阿部守男	内山博志	上村行雄	住安康一	駒井和彦	森本恵理子	佐藤隆一	久保田陽一	長谷川有理	田中淳
請願第2号	不採択	5	10	×	×	×	×	○	×	×	○	—	×	○	×	○	×	○	×

※ ○は賛成、×は反対、議長(上村行雄)は採決に加わりません。

常任委員会報告

総務文教委員会

委員長 平澤 智

総務文教委員会に付託されました議案第35号、議案第36号、議案第40号及び請願第1号の以上4件につきまして、慎重に審査いたしました結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。また、請願1件を採択すべきものと決しました。

○議案第35号 小千谷市税条例の一部を改正する条例の制定について

- ・ 森林環境税の税収見込み
- ・ 新設される電動キックボードの区分
- ・ 軽自動車税環境性能割の賦課徴収の特例に係る税収への影響などの質疑があり、意見、討論はな

く、本案は全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第36号 小千谷市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に

基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について

- ・ 生活に困窮する外国人の定義と対象者数及び周知方法についての質疑があり、意見、討論はなく、採決の結果、全員異議なく原案の通り可決すべきものと決しました。

○議案第40号 令和5年度小千谷市一般会計補正予算（第2号）について

主な内容について

- ・ マイナンバー関連トラブルに対する市の対応について
- ・ マイナンバーカードの申請率と交付率について
- ・ 図書館等複合施設整備事業において工事費増額の内容について
- ・ ほか質疑があり、意見として

・ 全国的にマイナンバー関連で様々なトラブルが報道されており、市民の不安が増している。市民の不安を取り除くための広報をしっかりと行ってもらいたい。

討論はなく、採決の結果、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

住安 康一 議員



デジタル化の推進・整備について

○質問 窓口業務に「書かない窓口」の導入を推進すべき。現状の方向性や行程等に関して伺う。

○答弁 本年5月に関係部署で組織する「窓口改革推進会議」を設置し、導入に向けた具体的な検討を進めている。

○質問 市役所でも印鑑登録証のカードがなくても、印鑑登録証明書が発行できるように検討すべき。

○答弁 仕組みについて、国のマイナンバーシステムの改修計画の動向を注視つつ、検討する。

○質問 対話型人工知能（AI）チャットGPTなどの生成AIの導入について。

○答弁 国の動向を踏まえ、利活用方法を整理し、導入に向けた研究を進める。

○質問 パートナーシップ宣誓制度 制度の導入について。

○答弁 導入の考えはない。県内各市町村の動向や先進自治体における課題や効果などを研究する。

投票しやすい環境づくりについて

○質問 移動手段に問題があるのであれば、改善や支援が必要。移動期日前投票所の導入について。

○選挙管理委員長答弁 他市の実施状況を参考にするとともに、ニーズを把握する方法を考える。

○質問 障がい者や高齢者をサポートするための、投票所における「コミュニケーションボード」並びに「投票支援カード」の導入について。

○選挙管理委員長答弁 困ったことがある場合や、支援が必要な方に対しては、投票所の事務従事者が対応する。導入する考えはない。県外自治体の事例などを調べる。

○質問 投票所のバリアフリー化や車いすの配備などの投票所環境の整備について。

○選挙管理委員長答弁 段差に関しては簡易スロープなどで対応。投票施設変更に関しては投票区内の町内会の意見を聞きながら慎重に検討する。車いすの配備については、他施設からの一時的借用や有償レンタルなども検討する。

民生産業委員会

委員長 阿部 守男

○請願第1号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求めるとして

全員異議なく本請願は採択すべきものと決しました。

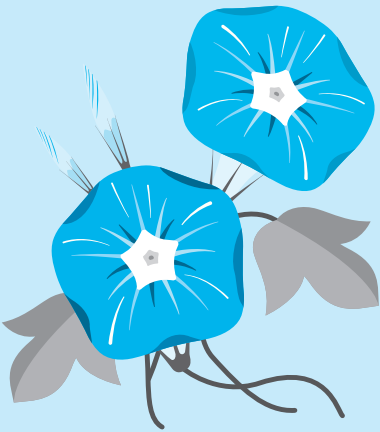
本委員会に付託されました議案3件並びに請願1件について、慎重に審議した結果、議案3件については全て可決すべきものと決しました。請願1件については、採択しないものと決しました。

○議案第37号 小千谷市子どもの医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は子ども医療費を保護者に助成し、経済的負担の軽減を図るために改正するものです。

○議案第38号 小千谷市妊産婦医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は受給者証の提示による方法を追加するために改正するものです。



○議案第39号 小千谷市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は18歳までの子どもの保険診療に係る自己負担を無償化するものです。

○請願第2号 「消費税インボイス制度の実施中止を求める」意見書を国に提出することを求める請願について

本案は商工団体の意向、事業者への影響等に対する質疑があり、採決の結果採択しないものと決しました。

長谷川 有理 議員



岩沢田産廃施設24時間稼働化

質問 24時間稼働・増設の経過は。

答弁 当市に平成30年7月に16時間から24時間稼働に延長し焼却施設を1基から2基に増設したいと計画説明。同年10月に市にスケ

ジュール説明があり住民説明会の範囲は岩沢地区町内会長協議会に相談してはと伝えた。相談を踏まえ令和2年11月に岩山町内と外之沢町内の住民を対象に地元説明会を行った。特に反対意見はなく同年12月4日に地元代表が了承した旨の確認書に署名捺印した。一連の手續きに問題はなかったが限られた地区の住民への説明であり地域からの申し出があれば積極的に話し合いに応じるよう県を通じて働きかけたい。

質問 了承する地元住民の定義をどう規定したのか。岩山は7世帯のみの集落。その集落内でさえ、現時点で24時間稼働に十分な説明

を受けていないという住民が多い。

答弁 きめ細かな説明が必要。

質問 他県のゴミの受け入れや匂い、水源を生活用水や農業用水として使う下流住民の懸念があり岩山だけでなく岩沢や南部全体で不安感を持つ住民は多く、対策を。

答弁 積極的に話し合いに応じるよう県に働きかけ業者に応じてもらう。市も市民の安全に関して重要な点であり動いていきたい。

学校給食の無償化について

質問 1食10円の給食費値上げ分補助だけでなく、もつと踏み込んだ学校給食の無償化を行うべき。

教育長答弁 全国ベースでの無償化の動きを注視し重点政策プロジェクトチームでも研究していく。

市役所玄関脇に車いすマークや思いやり駐車スペースの設置を

質問 身体が不自由な方やご家族から来庁しにくいとの声が多い。合理的配慮違反を解消すべきでは。

答弁 対応を検討して行く。

高齢者自主免許返納の支援創設を

質問 県内20市中、未実施は当市を含め4市のみ。早急な創設を。

答弁 支援創設を今、実施する予定はないが総合的に考え中である。

森本 恵理子 議員



船岡公園活性化について

質問 市街地にあり、お子さん連れや子どもたち、車を持たない高齢の方でも気軽に訪れることができ、過去には県内でも屈指の公園として有名であった船岡公園。市民の憩いの場として活性化は必須だと考えます。毎年、多額の維持管理費をかけ綺麗に整備が行われていますが費用対効果の面からも効果が出ているとは言い難い現状に関してどのように認識されているか伺います。

答弁 様々な視点から公園全体の活性化に向けて検討する必要がありますと考えております。

質問 活気ある公園としての機能を果たすために立木の伐採や遊具のリニューアル、山麓トイレの新設、錦鯉の放流等蓮池の再生、史跡としての整備を行う等、再度手を入れることが必要と考えますが見解を伺います。

答弁 同様に活性化に向けて検討する必要があると考えております。

不登校対応について

質問 不登校児童、生徒が急増傾向にあります。現状に対する認識と対応に対する見解は。

教育長答弁 新たな支援策を検討し、組織的な体制で取り組んでいく必要があると認識しています。

質問 HSC気質の子どもたちへの対応と教員への認知普及、配慮ある対応について伺う。

教育長答弁 HSCへの理解促進も含め、支援や配慮が行えるように努めてまいります。

質問 不登校対応として、希望があれば市内の他の学校に通えるように柔軟な対応が必要では。

教育長答弁 本人及び保護者の意向に沿って、学校を変更することも可能となっております。

質問 中学校卒業後に不登校となった子どもと家族へのより手厚い支援が必要と考えますが見解は。

答弁 支援体制を強化していくことは重要な課題と認識してまいります。まずは実態把握に努め、それを踏まえた具体的支援について取り組んでまいります。

市政の内容を聞く

一般

質問

佐藤 勝義 議員



図書館等複合施設の今後の運営方法について

質問 約1年後の完成オープンに向けて、使用したい、活動したいという市民や市内に数多くある団体の期待度は大きい。使用者の立場から考えた場合、一番の関心は各アンカーの使用料金となっている。当施設の金額設定について、条件などスケジュールも含め公表すべきものでは。

答弁 当施設は誰でも自由に活動できることを基本とし、運営方法を検討している。アンカーも含む施設内の空間は、開館時間内であれば個人やグループでも自由に利用できる。また、アンカーは活動目的や内容によっては占有利用も可能とするが、受益者負担の公平性を保つ観点から、占有利用する場合は、使用料を徴収したいと考えている。使用料金決定までのスケジュールに関しては、市内外の

公共施設などを参考に検討し、令和6年第1回定例会までに条例案を市議会へ提出する。関係条例交付後には速やかに市民の皆様へ周知していく。

質問 当施設でのイベント企画等、学生のアイデアを反映できるように、ふるさと夢づくり授業の中で取り組んでもらえることを提案するが、見解を伺う。

教育長答弁 ふるさと夢づくりの一環として、南中学校では当施設の活用方法について、行政主導での話し合いを3回実施した。施設の繁栄や将来性にとって大切な視点でもあり、今後、学校と連携を密にしながら研究に取り組む。

質問 オープン後も「at!おぢや」は、施設継続と繁栄に向け、メンバー枠を広げていく必要性があるのでは。

答弁 オープン後も市民の皆様と行政が対話しながら「at!おぢや」を継続したい。事業内容については検討する必要があるが、市内外から参加していただくことで、当市の魅力発信と施設周辺や市街地における集客にも繋がるものと考えている。

佐藤 隆一 議員



質問 腎透析患者の実態把握について伺います。

答弁 本年6月現在の患者は90人です。小千谷総合病院76人、長岡日赤・長岡中央・立川総合病院が合わせて14人です。月水金と火木土に分かれて、毎週3日間4時間の透析治療を行います。また、高齢者ばかりでなく、働きながら夜間に透析を行う人もおります。

質問 通院にかかる交通費の助成制度について伺います。

答弁 人工透析通院費助成事業により、令和4年度福祉タクシーが15人、通院給油助成券の交付者が26人で41万3千円です。

市民税課税者の交通費自己負担額については実情を把握しておりませんでしたが、これからは、更生医療更新手続きの際に、聞き取りを行いたいと考えています。

質問 患者の高齢化が進み、年々通院が難しくなっています。また、

激しいインフレにより、自己負担の格差が大きくなっています。透析治療は年間150日以上の通院が必要で、自己負担の格差を縮小するには、送迎車を用意する必要があるかもしれません。

答弁 小千谷市が送迎車を用意することは現在考えておりません。エネルギー価格の高騰対策として、住民税非課税世帯には緊急支援給付金を支給する予定です。

質問 透析は血液中のバランスを人為的に調整するため、全身のバランスを崩しやすく、透析直後は安静が必要と聞いています。年間150日以上の通院が必要で、高齢化に伴って、自力通院が難しくなっています。通院は自助努力とされてきた見直しが必要では。

答弁 他市の事例などを見ながら、制度の改善について研究する必要があります。また、人工透析を予防するため、今年度から特定検診に加えて、高齢者への生活習慣病の重症化予防の取り組みを始めました。

内山 博志 議員



国民健康保険の負担軽減について

質問 光熱費をはじめ生活必需品の高騰は特に所得の低い人達に大きなダメージを与えている。国保加入者は、多くは所得が低く、負担は重い。医療費給付の基金は小千谷市は同様な規模の自治体比べても2倍以上ある。これを活用して負担の軽減をすべきだし、それは可能だ。特に所得のない人に課税する均等割を優先的に免除、軽減すべきではないか。

答弁 令和4年中に1億円取り崩したが給付金のための運用とコロナ禍、国保軽減のためのもの。所得の少ない世帯は軽減措置があり、6割が該当している。今後財政運営が県に移行する、その時、納付金不足が生じたときの準備が必要だ。県の動向を注視していく。**免許返納者へのタクシー券などの交付について**

質問 「免許の返納をしたいが後

のことを考えると返納できない」このような人達に対して支援の必要があると考えているが。

答弁 一時的支援では返納者を増やせない。総合的に研究するが、いつまでと今はいえない。

柏崎刈羽原発のUPZ圏内の事前了解権について

質問 UPZ圏内（原発から30キロ）・避難準備区域に避難計画を義務づけていながらその自治体は事前了解権がないというのはおかしい話だ。UPZ議員研究会が行ったアンケートで市民の79.6%が事前了解権は必要と回答している。東京電力との安全協定に市の事前了解権を含むものに改定する考えはないか。

答弁 市町村による原子力安全対策に関する研究会で東電の不祥事、適格性など重大事案と認識し、真摯に対応することを求めている。東電と県や立地自治体との間の協定には事前了解はある。事前了解の範囲等について原子力発電は国策でもあるので国レベルで論議すべきと考える。

和田 忠篤 議員



図書館等複合施設について

質問 児童、生徒、学生の図書館等複合施設の利用の仕方について。

答弁 児童については、読書や遊びの場として、また、生徒、学生については、学習や創作活動の場として利用はもとより、友人同士などと気軽に集える憩いの場として利用を想定している。

質問 児童、生徒、学生の利用を高める方法について。

答弁 複合施設が子どもや若者にとって、学校でも家庭でもない第三の居場所となるよう居心地の良さを追求することにより、継続して利用いただけるよう努める。

質問 学校図書館との連携について。

答弁 それぞれの役割において、子どもたちの学習に資する目的は共通していることから、市立図書館が学校図書館の運営を支援する形で連携を図っていく。

質問 読書離れへの対応について。

答弁 施設を訪れることで自然と本に触れ合い、自ら本を借りて読みたいと思うきっかけづくりに取り組んでいく。

質問 学習室、学習スペースの確保について。

答弁 複合施設の建物の設計においては、学習のみに使用する専用学習室は配置していないが、学習室、学習スペースに対するニーズは高いと認識しており、複合施設においても重要なスペースであると考えている。

そのため、施設内に複数個所に多様な席を設けることで、学習も含めた様々な用途に利用できる場所として、計120席程度を確保する予定である。

学生によっては静かな環境で学びたいというニーズもある。様々なニーズに合わせた環境づくりに配慮する。

質問 「テレワークステーションおぢや」との連携について。

答弁 アンカーの利用状況などにより、複合施設内の学習スペースが不足する場合に補完する場所として、利用いただきたい。

市政の内容を聞く

一般

質問

駒井 和彦 議員



重点政策プロジェクトチーム

大塚市政時のプロジェクトチームとの違いや取り組み効果、今プロジェクトチーム(以下PT)に反映する点について。

前PTが実現した施策については、社会情勢の変化等に依りて見直し実施してきたが、人口減少という重大課題に対し、より多角的・包括的な対策の必要性を感じた。今PTにおいてこれらの点を反映し、産業や観光、地域の魅力向上等の多角的な視点から重点課題の調査・研究に取り組む。

今PTはどのような組織体となつて活動を展開していくのか。

市職員主体だが、市民や団体、企業からの協力も想定する。それぞれのチームが調査・研究を進める中で、その時々に応じて参加頂き「市民総参加」を進める。

第1回定例会で示された事業との関連性、取り組みについて。

所管課が事業を進めるにあたり、事業効果がより高まるよう連携しその効果を検証し、新たな事業として構築する事も想定する。

取り組みのスケジュール、成果目標の設置等について。

テーマによっては社会情勢の影響等により、短期的・長期的に目指すゴールそのものが変化する可能性があり、常に進捗状況や実践成果を検証し、必要に応じて方向性を修正しながら2つのスケジュール感を意識する。成果目標等の必要性は認識しているが、現時点での設定は困難。今後は検討。

職員の過重労働を鑑み、機構改革で専門部署を設置しては。

業務量や責任が増大する事は十分承知しているが、専門部署設置の考えはない。

池ヶ原田園地帯を望む側の休憩施設の修繕について。

本年2月にも県要望したが整備されず。引き続き要望する。近隣崖地等への、ゴミの不法投棄について。

警察と連携。啓発に努める。

佐藤 瑞穂 議員



都市宣言塔撤去と公共サイン新設

非核平和都市宣言塔の撤去後、同一地に新たな公共サインの設置を計画しているか。

市内6か所の都市宣言塔は経年劣化等により8月末には撤去完了予定。撤去後、同じ箇所看板等を設置する計画はない。

山本山の自然環境など小千谷の地域資源を市内外に広く伝えるため、新たな場所での公共サインの増設は検討しているか。

新たな場所での公共サイン増設の具体的計画はない。今後、山本山開発をテーマとする魅力再生プロジェクトチーム等の観光誘客施策の検討において、その必要性も議論の対象になると考える。

締結相手方とどのようにコミュニケーションをとっているか。また、部署横断的に連携状況を共有する枠組みはあるか。

検証作業により、庁内において連携協定に対する職員の認識が不十分で、有効に活用されていない協定があることを確認した。

今後、協定ごとの連携項目や具体的な取組内容について庁内全体で情報共有し、有効活用につながる仕組みづくりを検討したい。

義務教育段階の不登校傾向、義務教育後のひきこもりという状態の悩みを抱える子どもや家族のサポートについて、市民や民間の動き出しを市としてバックアップする意思があるか。

ひきこもり当事者の居場所の設置運営、就労支援は行政だけでできることは限られ、民間活力が不可欠と認識。私も昨年から今年にかけて、ひきこもり当事者のご家族と意見交換を行ってきたが、今後は今まで以上に、ひきこもり対策について市民や民間団体、事業所と力を合わせて取り組みたい。

市民や民間の活動によって同じ悩みを抱える当事者のための多様な学びの場や社会とのつながりをもてる環境をつくりだすことも大切な取り組みと認識。

市民や民間の活動によって同じ悩みを抱える当事者のための多様な学びの場や社会とのつながりをもてる環境をつくりだすことも大切な取り組みと認識。

市民や民間の活動によって同じ悩みを抱える当事者のための多様な学びの場や社会とのつながりをもてる環境をつくりだすことも大切な取り組みと認識。

平澤 智議員



福祉会等活動支援について

質問 地域の福祉活動送迎用手段の支援について。

答弁 小千谷市社会福祉協議会に対して、地域福祉推進事業費補助金を活用し、各福祉会等活動に活動費を助成しており、送迎用保険の保険料にも充てることができることとなっている。福祉会が行ういきいきサロンに自力での参加が難しい利用者への送迎をボランティアが行う場合は送迎加算の補助金を設定している。

質問 送迎ボランティア保険等の利用度の現状について。

答弁 送迎サービス補償傷害保険について例年3月に開催する「福祉会連絡協議会会議」において制度を紹介している。福祉会29団体のうち今年度は3団体が加入している。その他民間の保険制度を活用し送迎を行っている福祉会もあると聞いている。

文化財継承について

質問 文化財継承の難しさの要因や対処方法、行政側の思い、考えと取組みについて。

答弁 現代社会において文化財を地域の大切な財産として継承するために、多様化する生活環境などの時代の変化に合わせて多くの方々と力を合わせて保全・継承活動を行う必要がある。専門的な知識を持つ学芸員などが中心となって市民や関係団体と共に文化財を調査、保全、活用してゆくことが大切。

質問 民間の調査会や保存会等文化財に対しての支援体制について。

答弁 今年度から「文化財保存活用持続化事業」を開始した。文化財の調査から保存継承活動に至るまでを対象としたもの。通常個別の団体では申請できない国庫補助金について協議会として組織化・協働することで採択されたりしている。文化財は、未来に残すべき価値を共有しなければ継承できない。行政や保存会など誰かに任せられるのではなく、多くの関係者が保存、継承に関わる、まさに市民総参加が必要とされるコンテンツと言える。

廣井 良宣議員



(仮称)小千谷市防災センター整備事業について

質問 Jアラート発出時において国からの通知に対応し、地下施設の必要性を感じる。地下駐車場の設置により地上駐車場面積の縮小、冬季除雪費の軽減も見込まれるのではないか。

答弁 地下駐車場については指摘のメリットがある反面、多額の整備費、特殊な消防設備や排煙設備の設置、点検・更新が必要となる。また、駐車場については防災公園の整備当初より配置等を計画済みであり総合的に判断して難しい。

質問 災害発生時に必要不可欠な、また日頃は配食サービスで利用できる機能を有する炊き出し設備の必要性について

答弁 現在、設計協議において提案を受け付けている段階であり、詳細は決定していない。勤労青少年ホームの料理講習室と同等の規

模は困難であるが、配食サービスは民生委員による見守り活動も併せた重要な取り組みと認識している。それができよう考慮する。

質問 支援物資集配所の仕様について。施設の高さが6mの想定とことであるが、屋根の形状次第では10m程度も可能ではないか。平常時にはテニスや野球等の様々なスポーツをする人にとって魅力的な施設になるのでは。

答弁 支援物資集配所の平常時の利用については、冬季も利用可能な屋根付き屋外運動場とすることとし、現在設計協議において提案を受け付けている。多様な機能を有し、利用者の様々なニーズに対応できるよう整備するのが理想である。しかし、総合計画実施計画における財政運営計画に基づき物価高騰も考慮した事業費を設定している。限度額の範囲内で最も優れた提案を選定した上で、詳細な仕様を決定することになる。引き続き関係団体と協議してまいりたい。

市政の内容を聞く

一般

質問

〔4月〕
6日 広聴広報委員会
北信越市議会議長会定期総会
（富山市）
16日 市議会議員選挙告示日
23日 市議会議員選挙
25日 議会運営委員会

〔5月〕
1日 新議員16人就任
2日 議員打合せ会
9日 会派代表者会議
12日 会派代表者会議
15日 第1回臨時議会
総務文教委員会
民生産業委員会
議会運営委員会
初当選議員予算説明会
24日 議員全員協議会
26日 議員クラブ会
29日 議員市内視察
31日 議会運営委員会
県特別豪雪地帯市町村議会
定期総会（糸魚川市）

〔6月〕
2日 第2回定例会本会議（初日）
5日 広聴広報委員会
6日 常任委員会連合審査会
7日 総務文教委員会
14日 民生産業委員会
17日 全国市議会議長会定期総会
（東京都）
21日 広聴広報委員会
22日 議会運営委員会
26日 本会議（第2日）
本会議（第3日）
議員全員協議会
広聴広報委員会
議会運営委員会
本会議（最終日）

本会議をインターネット中継しています

市議会ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。
本会議当日のライブ中継のほか、本会議終了後概ね1週間後には、録画映像も配信しています。
市政への一般質問で各議員の顔写真の下に二次元コードを掲載しており、スマートフォンやタブレット端末で読み取ると、各議員の一般質問の録画中継をご覧いただけます。
また、会議録も市議会ホームページで閲覧できます。
（令和5年第2回定例会の会議録掲載は、8月末頃となります。）

URL <https://www.city.ojiya.niigata.jp/site/gikai/>

小千谷市議会

検索

市議会を傍聴してみませんか

第3回定例会開催予定

8月30日(水) 第1日 議案上程説明
8月31日(木)～9月5日(火) 各常任委員会で審査
9月19日(火) 第2日 一般質問
9月20日(水) 予備日 一般質問(質問者が多い場合に開催)
9月22日(金) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局（Tel83-3505）へお問い合わせください。委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。

市議会だよりをアプリで配信中



スマートフォンやタブレット端末で使える無料アプリ「マチイロ」で配信中です。最新号を発行日に自動でお届けします。ぜひご利用ください。

Android用

iPhone用



編集後記

市議会議員改選後はじめての臨時会・定例会が終わりました。
この度の改選により、新たに5名の市議会議員が誕生いたしました。約3分の1が入れ替わったこととなります。正副議長、各委員長も一新いたしました。

市議会では議会基本条例により、広聴広報機能の充実を図るため、議員で構成する広聴広報委員会を設置しています。今回新たに広聴広報委員会の委員が決まりました。

座長 森本恵理子
編集委員長 平澤 智
副編集委員長 佐藤 瑞穂
編集委員 佐藤 勝義
編集委員 高木 健太
編集委員 阿部 守男
編集委員 内山 博志
編集委員 住安 康一
座長を含むこの8人は、市民の皆様へ市議会だよりを通じて様々な情報の提供に努めてまいります。
新たな顔ぶれで市議会運営をこれまで以上に盛り上げてゆきます。
宜しくお願いいたします。

編集委員長 平澤 智